

子育て支援情報紙

# えんぜる

第**300**号 (カラー版特別号)



令和5年 5月 1日  
足寄町教育委員会  
TEL 0156-25-3188

足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp)

**5月**

## 子育て支援カレンダー

紙面

日	月	火	水	木	金	土
	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b> 憲法記念日	<b>4</b> みどりの日	<b>5</b> こどもの日	<b>6</b>
<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b> えんぜる編集会議 11:00~	<b>10</b> ひよこクラブ	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>13</b>
<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b> つどいの広場 お楽しみ会	<b>17</b>	<b>18</b> 「すすく」 10:10~11:50 町民センター会議室1・2	<b>19</b>	<b>20</b> 絵本の会はらっぱ 11:00~11:30 対象者: どなたでも
<b>21</b>	<b>22</b>	<b>23</b> リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	<b>24</b> ひよこクラブ	<b>25</b> 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	<b>26</b>	<b>27</b>
<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b>			

二面・・・保護者の目線で情報『えんぜる』300号おめでとう！  
 三面・・・保護者の目線で情報(続)『えんぜる』300号おめでとう！  
 四面・・・お勧めの本『Today』『わがかながわ』『わがまち』・編集後記

つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週:月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は:TEL25-4415まで  
 ひよこクラブ ⇒ 詳細はつどいの広場と児童館に掲示してあるポスターをご覧ください。問い合わせは:TEL25-4415まで

☆「えんぜる編集員」募集のお願い☆

子育て世代の編集委員を募集しております。どなたか、ご協力いただける方がおりましたら  
 教育委員会生涯学習室担当の加藤・青木まで、ご連絡ください。(電話:25-3188)

# 「えんぜる」300号おめでとう！

「えんぜる」は足寄町の子育てを頑張っているお父さん・お母さんを応援し続けて、なんと！今月で300号を迎えます。そこで、創刊からのあゆみや、今まで携わった方から頂いたお祝いメッセージ、令和4年度の編集委員のコメントをご紹介します。



## ☆「えんぜる」のあゆみ☆

「我が子に心身ともに健やかに成長して欲しい」と願う親の想いを受け止め、1998年7月号より当時の生涯学習アドバイザー1名で始めました。B4版の2ページで構成していました。2003年4月からA3版の4ページに拡充させ、11月に「すくすく」に参加していたお母さん5名がボランティアとして編集局員となります。12月号(67号)より編集局員が中心となり編集されるようになり、紙面が大幅に子育て中の親のニーズに答えられる内容になりました。現在300号まで途切れずに続いています。

## ☆創刊当時担当していた元生涯学習アドバイザー保井信幸さんのコメント(100号記念紙より抜粋)☆

表題の「えんぜる」は少しキザな話かと思いますが、教師であった頃の子どもへの実感をそのまま使わせてもらったものです。まして幼児期の子はまさに“天使”そのものだと思います。…(略)…テーブルを囲んであれこれ意見を寄せ合っているお母さん方の生き生きした表情が目につかびます。

## ☆2003年のリニューアル時から約4年間携わった、初代編集局員 C.Y さんより☆



“300号おめでとうございます！！” 当時は、長女の体が弱く、自分自身も子育てに悩む事がありました。同じように頑張っているお母さん達と一緒に参加する事で、自分の成長にもつながると思ったのがきっかけで編集局員になりました。アドバイザーの定村さんとお母さん5人で新たにスタートした「えんぜる」が現在まで続いている事を嬉しく思います。当時お腹にいた次女は今年足寄高校を卒業し巣立っていきました。感慨深いです。

## ☆2005年頃から5～6年間携わってきたY. Tさんより☆

“300号おめでとうございます。” 息子が5、6歳の頃、近所に友達もいなかったで、ひよこクラブを通じてママ友ができ、えんぜるの編集委員になった事で、子育てについて色々な意見交換ができて良かったです。えんぜるで、自分の想いを聞いてもらえる場に参加できるんだ。と感じていました。私たちが残してきた物を今まで続けてきて頂いた事に感謝します。ありがとう！これからも、迷えるママ達にえんぜるを届け続けて下さい。

## ☆2010年から約12年間携わってきたT. Aさんより☆

“300号おめでとうございます！” 初めての赤ちゃんを抱えて、見ず知らずの町に越してきて、途方に暮れていたところ、当時のアドバイザーの先生が勧めてくださって参加したのがきっかけです。自分のように、小さな子どもを連れて移住してきたお母さんたちに役立つ情報を届けられたら…と思い活動してきました。「えんぜる」は、ローカルな子育て情報を楽しく収集できる一方で、(微力ながら)誰かの役にも立てていると感じられる素敵な活動でした。お母さんたちの手作りの情報誌がこれからも続きますように。





## 私が見つけたお勧めの『本』

### 『Today』

訳：伊藤比呂美 画：下田昌克 出版社：福音館書店

2013年出版当初にこの本を手にしたとき、なんとも言えないじーんとあたたかなものを自分のハートに感じました。

作者不明の短い詩。育児に奮闘している最中であればあるほど、心当たる描写。「でもこう考えれば、いいんじゃない？」と、展開していく後半の文章を何度も何度も読んだ記憶があります。

育児中はできてないことばかり数えがちですが、できていることも必ずある。尊い命を育ててる今日を過ごせたんだな、わたし！と思える1冊。すべてのお母さんに贈る詩です。



### 『それしかないわけ ないでしょう』

著者：ヨシタケシンスケ 出版社：白泉社

この本は「大人になったときに未来に待っているのは大変なことばかり」というお兄ちゃん言葉に、不安になった妹がおばあちゃんに相談するところから始まります。

この『それしかないわけ ないでしょう』のセリフは、おばあちゃんがその時返した言葉です。本当にその通りですよ！未来がどうかなるなんて、誰にもわからないですよ。この本を読むと、いかに自分が普段の生活で固定観念に囚われて生きてきたな、と感じます。

何事も、もっと柔軟に、気楽に考えられたらなあと思います。特に子育てをしていると、こうあるべき観念を子どもに押し付けてしまっている自分がいました。

ユーモア溢れるセンスで笑いどころ満載な本です。是非、手に取って見てはいかがでしょうか？それしかないわけ ないでしょう、いい言葉だなあ～！



## 編集後記

いつも、『えんぜる』を読んでいただきありがとうございます。

今月号で「子育て支援情報紙えんぜる」300号を迎えることができました。とてもうれしい気持ちでいっぱいです。二十五年前に『えんぜる』第1号が発刊され、先輩編集委員のお母さん方のバトンを受け継がせていただいております。

えんぜる編集委員は、毎月の初めに集まって編集会議を行っています。来月号の『えんぜる』発行のためにチェックをします。チェックの後には再来月の編集会議記事の話し合いをします。そして、各担当者を決めて、締切日までに取材したことや調べたことを原稿にして提出しています。

現在六人の編集委員で頑張っています。まだまだ編集委員を募集しているので、興味のある方や、やってみたい方は、ぜひぜひ一緒に初めてみませんか？お待ちしております。

ここで質問です！300号の『えんぜる』にいつもと違うところがあったのお気づきになりましたか？実は、最近の寝ていた「えんぜるちゃん」が、起きていたんですよ。細かいところまで楽しんで作成しています。子育て中のお父さん、お母さんへお役に立てられるよう、これからも編集委員一同頑張っていくと思います。「子育て支援情報紙えんぜる」をよろしく願います。

(編集委員 S・Y)